

オペレッタの殿堂として日本でも人気があるウィーンのフォルクスオパーに新風が吹いている。保守的なことで知られるこの歌劇場が、現代作品や新演出を積極的に取り上げ始めたからだ。J・シュトラウスやレハールの作品を基調にした独特的伝統が破壊されると危惧する声がある一方、観客層が広がると評価する向きもあり、議論が沸き起^きこっている。

保守的なオペレッタの殿堂に革新の風

に取り上げ始めたからだ。J・シートラウスやレハールの作品を基調にした独特の伝統が破壊される危惧する声がある一方、観客層が広がると評価する向きもあり、議論が沸き起^きつて^くいる。

で成功を収めた実績がある。同氏はレハール作曲の「ロシアの皇太子」を自ら演出。舞台にオーケストラを上げる斬新な手法をとり、主役には日本人ソプラノ歌手の中嶋彰子を起用し、切符を完売した。また、チャイコフスキイ作曲の

作曲のオペラ「愛の妙薬」の新解釈も、注目を集めた。

で成功を収めた実績がある。同氏はレハール作曲の「ロシアの皇太子」を自ら演出。舞台にオーケストラを上げる斬新な手法をとり、主役には日本人ソプラノ歌手の中嶋彰子を起用し、切符を完売した。

作曲のオペラ「愛の妙薬」の新解釈も、注目を集めた。やはり新任のキャステイング・ディレクター、ムース氏は「劇場は博物館ではない」と主張、今後も伝統的作品を新演出で上演していく強気の姿勢を見せている。

オペレッタの殿堂として日本でも人気があるウィーンのフォルクスオパーに新風が吹いている。保守的ことで知られるこの歌劇場

ブルックのチロル州立劇場劇団の
総監督を務め、シェーンベルク作
曲のオペラ「モーゼとアロン」や
ニールセン作曲の「マスカラデ」

裁（芸術監督兼任）に就任したドミニク・メンタ氏。昨シーズンまで七年間、オーストリア・インス

古典バレエ「白鳥の湖」をパトリック・プルシンガーが前衛的な電子音楽に作り替え、リズ・キング